



川崎協同病院院長
大山 美宏

昨年、七月一六日に川崎協同病院の院長に赴任してから一年が経過しました。この病院が、戦後の貧困と飢餓が蔓延するなか一九五一年三月地域の人がとがなけなしの金を出し合い、大師診療所をつくって、今日まで守り育ててきた歴史を絶やすことのないよう、経営危機を乗り越え再建を必ずやり遂げることが地域への責任と考え赴任したわけです。この一年間は職員を削るような努力と、地域の患者さんや組合員さんご援助により、また、地域の医療

機関の皆様のおかげで、当面の危機は乗り越えることができました。改めて感謝申し上げます。引き続き、診療報酬改悪のなか、皆様方への医療の提供のために経営的努力をまいります。

地域では貧困と格差が拡大し、先進国で最高の患者負担といわれる医療となり、患者さんが受診しにくくなってあります。また医療従事者も長年の公的医療費の抑制政策と、四回連続の診療報酬減額によって疲れ切っており、医療供給体制が崩壊の危機に瀕していると言われております。社会保障費二二〇〇億円の削減をただちに中止し、公的医療費増加の方向を打ち出すべきです。患者負担がなくなりお金の心配なく医療にかかれ、医療従事者がゆったりと診療が行え、患者さんの要求に真摯にむきあえる医療になるよう、医療人としての社会的存在、専門職としての社会的発言が必要な時期と考えます。



副院長
川崎協同病院地域連携室室長
安西 光洋

みなさん、こんにちは。今年の四月から、川崎協同病院地域連携室室長となりました安西です。ご挨拶が遅れてすみませんでした。今、どこかの病院にも、地域連携室、あるいはそれと同様の組織があり、地域医療の形成と発展のために、活躍しております。当、川崎協同病院でも、以前より、連携室がありました。ただし、活動の内容を広くアピールすることが、不十分だったため、地域のとりわけ開業の先生方としっかりスクラムを組んで、歩んでいく姿勢がお見せできなかったかなと、反省しているところです。今後、この紙面を使い、当院の医療内容を順次紹介していくつもりですので、入院させたい症例、利用したい検査などありましたら、遠慮なくお申し付けください。では、よろしく申し上げます。



笑顔のひろば

笑顔のひろば「第7号」

平成20年10月15日

発行

川崎協同病院広報委員会

川崎市川崎区桜本 2-1-5

TEL:044-299-4781(代)

FAX:044-299-4788

地域の視点、患者さんの視点で向上を

昨年九月に開始した回復期リハビリテーション病棟もおかげさまで軌道にのり、地域の医療機関からも紹介をうけることができいております。これからも地域の視点、患者さんの視点からわたしどもの医療内容を点検し、向上させるよう努力していきます。地域の医療、福祉の関連の方々との連携を大事にする所存です。今後ともご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

地域連携室より



循環器内科
上林 拓男

経験を活かしつつ、 学ぶ姿勢を忘れず。

初めまして。今年四月より循環器科で田中先生・石川先生の御指導の下、仕事をさせて頂いている上林拓男と申します。

知り合いでもないこの病院に始めて来た時は緊張しましたが、皆様に温かく迎えて頂いてとても感謝しております。

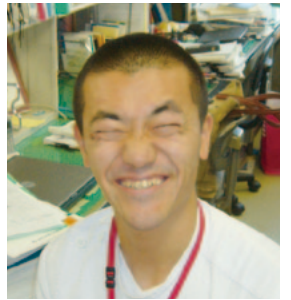
さて、私は東京医科歯科大学病院で二年間の研修期間を経て循環器内科医局に入り土浦協同病院(茨城県)で二年間臨床を学んできました。今までの経験を活かし、これからも学ぶ姿勢を忘れず患者さんのサポートができればと思っております。

また、毎週木曜日午後8時から7階の会議室で『ピリースポーツキャンプ』をしております。運動不足に悩んでいる方ストレスが溜まっている方等ごなだでも気軽にご参加下さい。一緒に熱い汗をかきましょう！

NEW FACE



新入医師紹介



初期研修医
金 崇豪

初期研修は 大成功の予感。

夏も終わりに近づき、焼肉のにおいに心躍る季節になってまいりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか？

二〇〇七年北海道大学を卒業し、本年研修医一年目になりました金崇豪です。

川崎協同病院では、医局はもちろん病棟も外来も患者さんまでもが暖かく、人と人の距離が近い関係の中で、時に空の雲のようにのびのびと、時に冷や汗をかきタンゴ虫のように縮こまりながら過ごしております。

川崎協同病院名物「近い距離」の中でその距離感を楽しめるそして楽しんでもらえる医師になりたいなと感じています。

皆さんはどんな思いで病院にいるのだろうか？聴きたいような、全く聞きたくないような、そんな気持ちを持ちながら今日も階段を縦横無尽に昇り降り。チフリ、チフリと見えています。

夏の恒例行事、「高校生・一般生一日看護体験」が終了しました！

REPORT



川崎医療生協での一日看護体験受入れは今年で四十八回目となります。今回も病院・診療所体験に多くの学生が参加し、医療機関で働く人々の医療現場を見学しました。病院体験のメインである病棟体験では、担当看護師さんに付いて実際に入院患者さんのケアなども実施します。その中で学生はコミュニケーションの難しさを感じながらも、患者さんからの「ありがとう」「素敵なきょうしさんになってね」と声をかけていただき、看護師という職業の《やりがい》を肌で感じてくれているようでした。また各診療所でも体験を受け入れていたので、病院とは違った訪問看護・往診・デイケアなど地域に根ざした医療を体験しました。看護体験には、毎回多くのリピーターの方が参加されていますが、今年も「一年生の夏から毎年参加して今回で五回目」という方もいました。

私たち職員も、初参加の方だけではなく、続けて参加する方にも楽しんでいただけるよう、企画を工夫しています。今後も、もう一度来たいくなるような一日看護体験、来る度に看護の魅力が伝わる体験を提供し、一人でも多くの方が看護学校へ進学していく手助けができればと思っています。川崎医療生協では春と夏休みの年二回、一日看護体験を開催しています。

参加してみたい方は是非、川崎協同病院の学生担当までご連絡下さい。お待ちしております。

看護学生担当 松澤 未和



新入職員紹介

新卒看護師

記号 暖世

なにことも、楽しく♪笑いをモットーにしています。

第一印象は「キヤラ濃いね〜」ですが、これは褒め言葉です♪趣味は音楽。演奏することも、聴くことも大好きです。でもそれ以上に愛犬の「ウエルシニコギーの磨呂」が大好きです。おばかな犬ですが、そこがまた可愛い！

今は夢だったナースとして頑張っています。いつでも、毎日でも素敵な笑顔が患者さんに届けられるようなナースを目指します。

そして、もう一つの目標は青い海を優雅に泳ぐ「マントラ」に会いに行くことです！
看護師一年目これからもどうぞ宜しくお願い致します。

リハビリテーション科 作業療法士

松原 秀徳

今年、リハビリテーション科に入職した、作業療法士の松原です。

趣味は「サッカー」と「囲碁」です。囲碁は相手がいないので、現在休止中です。

出身は広島で、田舎で育ってきたので川崎のにぎやかな感じに、少しとまどいもありますが、最近徐々に慣れてきました。

笑顔が心がけて働いてはいますが、無意識のうちに真顔になっていたり、とがある、お気付きの際にはごっそり教えてください。

これからも、頑張りますので宜しくお願い致します。

検査科

森田 恵子

私が検査技師を目指すようになったのは、親族が癌になったことがきっかけです。そこで摘出した腫瘍が癌であるかを調べたり、その後の変化がないか検査する検査技師が病気の早期発見にとっても重要な職種であることを知り興味を持ちました。また、川崎協同病院に就職する事で患者さまの立場に立ち医療を向上させようとする民医連の考え方に共感しました。今後自分も常に民医連の考え方でできる臨床検査技師を目指していきたいと思えます。

放射線科

葛西 良平

放射線科の新入職員で診療放射線技師の葛西良平です。

川崎協同病院やふじさきクリニックで胸部や腹部、整形の一般撮影をしています。

川崎協同病院では病棟や手術室でのポータブル撮影もしています。ギターを弾いたり、ドライブしたり、飲みに行ったりと遊ぶことが大好きな21歳です。

まだまだ知識不足、力不足なことばかりですが、一生懸命がんばりますので宜しくお願い致します。



皮膚・排泄ケア認定看護師

川口 郁代

認定看護師紹介

はじめまして！皮膚・排泄ケア認定看護師です！

皮膚・排泄ケア認定看護師というと、聞きなれない方が多いと思いますが、皮膚(傷、褥瘡、胃瘻など)や、排泄(失禁ケア、ストーマケア)について専門的な研修を受けた看護協会の認定の看護師です。現在、川崎協同病院では皮膚・排泄に関する他職種からのコンサルテーションを受けて、患者さんに適切なケアが行えるように、実践や、スタッフに指導を行っています。褥瘡回診では、医師と一緒に、患者さんの褥瘡の状態に合わせて、適切なケア方法を提案しています。ストーマ(人工肛門)を増設する患者さんには、手術の前から関わり、術後の生活のQOLが少しでも向上するように働きかけています。ストーマ外来では、ストーマをもった患者さん(オストメイト)が日常生活で困っていることや、ストーマ器具についての相談をお受けしています。排泄ケアでは、高齢者の瀕回の下痢によるおしりのかぶれに対するケアを行っています。今後は、専門知識を活かして川崎協同病院全体の、スキンケア、ストーマケア、失禁ケアが向上するように、学習会を行い、実践の患者さんの症例から、看護師一人一人が学び、看護の質が向上するために、少しでも貢献できたいと考えています。まだ、認定看護師になりたてですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

INFORMATION

2008 年度川崎協同病院 感染対策公開学習会

新型ウィルスにどう備える！



今年度の感染対策学習会は、最近マスコミをにぎわせている「新型インフルエンザ」について講演会を開催いたします。なんとなく知っているけど、なんとなく恐れけど新型ウィルスのことはよくわからない、病院で予防や対策をどうとればいいのか…など、お困りではありませんか？

そこで、今回、感染症情報センターの「森兼先生」に講演して頂く事となりました。細菌研究に携わり全国的にも名前が知られている先生ですので、是非この機会を逃さずおくのみなさまの参加を宜しくお願い致します。

日時：10月31日(金) 18時から

場所：当院7階会議室

主催：川崎協同病院 感染対策委員会・ICT

お問い合わせ先…川崎協同病院 副看護部長 鈴木 久美子

FAX 044-277-9634

電話 044-299-4781 川崎協同病院管理室



今年4月に新たな地域医療連携室が誕生しました！ どうぞ宜しくお願い致します。

地域のみなさまには、日頃より大変お世話になっております。川崎協同病院では4月より、安西副院長を先頭に看護師1名、ソーシャルワーカー3名、事務1名で地域医療連携室をスタートいたしました。入院、転院相談、退院調整、福祉相談など地域のみなさまのニーズに応えられるよう日々奮闘しております。

今後も地域の要となりうるよう、そして、地域医療連携室のパイオニアとして広くこの川崎の地域で活躍が出来るよう頑張っていくので、どうぞ宜しくお願い致します。



天高く馬肥ゆる秋、めっきり秋らしい季節となりました。

読書の秋、スポーツの秋、そして食欲の秋など、チャレンジの秋、到来といった感じですね。川崎協同病院の職員も、マラソンにバレーボール、トライアスロン、そしてビリー！etcいろいろなるスポーツにチャレンジしています。医療情勢に目が回るほど振り回されている毎日、リフレッシュも必要ですね。

さて「笑顔の広場」をお読み頂きましてありがとうございます。今年初めての広報誌でしたので職員紹介が中心でしたが、今後も川崎協同病院の活動内容を是非地域のみなさまに幅広くお知らせしていきたいと思えます。

「笑顔の広場」を笑顔で読んでいただける広報誌を目指し、今後も頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

三井 恵美

編集後記